

平成27年度入学試験問題（後期日程）
「小論文（地域学部地域環境学科）」出題の意図

日本におけるバイオマス政策および欧州の集落住民による自然エネルギー利用の事例，ならびにアマゾンの人々による採取経済の試みに関する各文章を読み，読解力や文章表現力を問うとともに，課題の設定能力および解決能力をみる問題である。

- 問1 日本のバイオマス政策に関する事例とその問題点を読み取る読解力と，それを的確に表す文章表現力をみる。
- 問2 ドイツの小さな集落の住民が実施する自然エネルギー利用事業に関する事例とその特長を読み取る読解力，それを的確に表す文章表現力をみる。
- 問3 資料の内容を踏まえて，地域資源を持続的に利用するために必要な方策を考察し，具体的かつ自由に論述させる。これにより，課題の設定能力と解決能力，論理的な思考力，地域環境資源の利用と保全に関する日頃の関心や理解にもとづく，独自の視点や着想の豊かさをみる。